

2019年 6月3日(月)  
有明新報 (3面)

# 電子回路に親しみやすく

有明高専の石川さんら

## アナログラムテキスト製作



アナログラムのテキストを製作した清水さん、石川さん、野口さん(左から)

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校と東芝情報システムは、プログラム可能なアナログIC「アナログラム」のテキストを製作した。入門編テキストとして分かりやすさだけでなく、高専や大学の授業でも使えるようにもなっている。

アナログラムは東芝情報システムが開発。パソコンを使って回路のプログラミングができるもので、これまでさまざまな部品を組み合わせた必要があったが、より簡単に回路を組むことができるという。

今回、同社からの要請を受けた同校創造工学科の准教授、石川洋平さんと清水暁生さん、同科助教、野口卓朗さんが製作。より電子回路に親しみやすいようにと、LEDやスピーカーなどを使った例題を紹介し、計測器がなくても、目や耳でプログラムが正しく機能しているか分かるようにした。

さらに、高専や大学の授業で使えるような構成になっており、4月に「アナロ

グラムトレーニングキット」として発売以来、企業や大学からも問い合わせがあっているという。

石川さんらは「ものづくりの根本や歴史を振り返ることもできる。身近に電子回路があることを感じる一助になれば」と話していた。

(矢野 大輔)